

▲株式会社エヌエフホールディングス

ユーザーと社会が抱える課題を解決する「新価値創造グループ会社」 ——最先端の技術者・研究者から「技術のエヌエフ」と高い評価

ここに
注目!

精密計測制御技術の深化により、社会の変化に柔軟に対応
EX・LX・DX を柱に、持続可能な社会の発展に寄与

エヌエフホールディングス (HD) は、傘下の企業グループを通じて「計測制御デバイス関連」「電源パワー制御関連」「環境エネルギー関連」「校正・修理」の4事業分野を展開し、未来のテクノロジーを支えている。社名の由来となったエヌエフ (NF) とは「ネガティブ・フィードバック」の略称で、信号の計測の基本となる、電気回路の出力を安定化させる制御手法のこと。このNFこそが、現在の幅広い社業の基礎となった。

具体的な製品としては、①研究開発から生産まで幅広く利用される高精度な計測制御機器②「はやぶさ2」などに搭載され宇宙分野を支えるデバイス③量子コンピュータ研究向け信号処理ソリューション④微小信号増幅技術を生かした医療機器組み込みや生体情報計測などのライフサイエンスソリューション⑤クリーンエネルギー・VPP (仮想発電所)・ス

マートグリッドといった次世代エネルギーや脱炭素社会の実現に向けた商品・ソリューションがある。

グループで製品から サービスまでを一貫提供

エヌエフグループは2020年10月に持株会社化したエヌエフHDを中心に、エヌエフ回路設計ブロックをはじめとする事業会社4社に加えて、技術商社や製造会社、フィールドサービス会社など子会社8社が連携して事業を展開している。開発から製造、営業、サービスまでを一貫して包括するグループ会社体制が強味だ。

エヌエフグループは「人々に共感を持たれる新しい価値を創造し提供することにより、社会からその存在を求められ期待される“計測・制御のリーディングカンパニー”」を企業ビジョンとして、ユーザーと社会が抱える様々な課題を解決する「新価値創造型企業

集団」を目指している。計測・制御技術を生かして従来のマーケットでの高い競争力を維持しながら、SDGsなどのグローバルな課題や先端科学技術の動向を常に把握して次世代の新規事業を創出する戦略だ。そこでキーワードとなるのが、エネルギー・トランスフォーメーション (EX)、ライフサイエンス・トランスフォーメーション (LX)、デジタル・トランスフォーメーション (DX) の3つの“X”である。

一般にビジネスの展開は「狭く深く」か「広く浅く」のどちらかと言われる。同社は計測制御技術、特にパワー制御技術を「深く」追究することで、環境エネルギー分野に「広く」展開することに成功した。EX関連の事例が、次世代の家庭用蓄電システム「Smart Star3」。これは「余った電力をためておく」だけの蓄電池ではない。停電時に太陽光発電システムと連動可能な自立運転機



本社 (横浜市)



宇宙向け 精密計測制御モジュール



AIによる充放電制御
家庭用リチウムイオン蓄電システム



弱磁場MRI（磁気共鳴画像診断装置）
組込み用 8チャンネル低雑音増幅器



DXのさらなる技術革新に
量子コンピュータ向け 低雑音増幅器

能やAI（人工知能）と連携した充放電の最適化など先進機能を備えた、家庭用のAI電力コントローラーだ。停電時は瞬時に蓄電池からの電力供給に切り換えるため、ユーザーが「停電だったことに気づかなかった」という。これも同社の卓越した計測制御技術のおかげだ。

若手研究者の育成で 社会貢献も

研究者の育成支援にも力を入れている。「エヌエフ基金」がそれ。

「革新」「独創」「発展性」に挑む若手研究者の支援を目的に、基金から毎年「研究開発奨励賞」を授与している。「先端計測」「環境・エネルギー」「新価値創成」が募集の対象となる研究開発分野である。さらに若い世代を対象にした新たなモノを作り出せる人材の育成にも力を入れている。生産拠点のある山口地区では高等専門学校（高専）生や高校生、小中学生向けに科学技術体験教室などを開催しているほか、神奈川県発明協会主催の「青少年創意くふう展覧

会」の活動も支援している。

業容の拡大に伴い、採用活動にも積極的に取り組む。研究開発型企業だけに、従業員の約7割を設計・開発や技術営業といった技術系の職種が占めている。そのため、技術者育成に関わる体制や設備などが充実しており、若手を中心に全社員が技術力を高められる環境にある。エヌエフHDは東証JASDAQ上場企業であり、安定した財務体質と高度なコンプライアンスを備えているのも魅力だ。

わが社を語る

代表取締役会長
高橋 常夫氏



持株会社化の今年を創業元年に位置づけ

エヌエフグループは、社名の由来でもある高精度なネガティブ・フィードバック制御技術をもとに「世の中に求められる新しい価値を提供する製品を創りたい」というフロンティア精神で成長を続けてきました。持株会社化を機に、今年を創業元年と位置付け、新たな飛躍を目指します。

私たちを取り巻く環境は既に大きな変革を始めており、脱炭素社会や安全安心の新生活様式など、時代の要請に俊敏かつ柔軟に対応していく必要があ

ります。

グリーンイノベーションやデジタル変革、さらにはライフサイエンスや量子サイエンスなどでエヌエフグループの強みを活かし、持続可能な社会発展に貢献できる新価値を提供する技術・商品・事業の創出に取り組みます。

エヌエフグループは、強靱でしなやかな個々の自律、そしてグループ各社の協調による有機的な組織力を発揮し、人々や社会の期待に応じて事業成長していきます。

会社 DATA

所在地：神奈川県横浜市港北区綱島東6-3-20
設立：1963（昭和38）年（創業1959年）
代表者：高橋 常夫
資本金：33億1700万円（東証JASDAQ上場）
売上高：連結：106億5100万円（2021年3月期）
従業員数：連結：377名（2021年3月31日現在）
事業内容：計測制御デバイス、電源パワー制御、環境エネルギー、校正・修理
URL：<https://www.nfhd.co.jp/jp/>

